

日本財団 **WORK! DIVERSITY** プロジェクト
2019年度、2020年度（4 - 11月）事業実施状況

2020年12月4日 第3回全体委員会

1. 全体委員会の開催

第2回全体委員会 2019年4月22日

就労困難者支援の基本的方向について議論した。

2. 企画委員会の開催

ミニ企画委員会 2019年5月13日

就労困難者支援の基本的方向についてフリートーキングを行った。

第6回企画委員会 2019年5月15日

就労支援の在り方について奥田知志氏（NPO 法人抱樸理事長）から、ヒアリングし議論するとともに、本プロジェクトで検討している就労支援策の効果を実証するためのモデル事業のあり方につき議論をした。

第7回企画委員会 2019年6月24日

本研究プロジェクトで提起された就労支援策の効果を実証するため、モデル事業の実施を予定している。そのスキームにつき、議論した。

第8回企画委員会 2019年7月17日

障害者+困難者の就労支援の取り組みについて、山内民興氏（社会福祉法人ぶろぼの理事長）からヒアリングし、議論した。

第9回企画委員会 2019年7月24日

地域共生の推進と就職氷河期対策の強化について、伊原和人厚生労働省厚生労働政策統括官、山田雅彦厚生労働省総括審議官、野崎伸一厚生労働省広報室長からヒアリングし、議論した。

第10回企画委員会 2019年10月24日

モデル事業について、各地からの参入の動向や、事業の対象範囲、実施体制、自治体の経費負担等を議論した。

第11回企画委員会 2019年11月22日

西岡正次氏（A' ワーク創造館就労支援室長）から、「生活困窮者自立支援制度のイ

ンパクトと課題」の問題提起があり、ダイバーシティ就労事業の進め方につき、意見交換を行った。

第 12 回企画委員会 2019 年 12 月 25 日

モデル事業の枠組みの見直しや日本財団助成ガイドラインについて議論した。

第 13 回企画委員会 2020 年 1 月 22 日

就労支援に関する、いわゆる静岡方式について、津富宏氏（静岡県立大学国際関係学部教授・NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡理事長）からヒアリングし、議論した。

第 14 回企画委員会 2020 年 2 月 25 日

西岡正次氏（A' ワーク創造館就労支援室長）から、「働きづらい人々のキャリアラダー・モデルの創設 ー大阪地域における態様横断的就労支援モデル 2.0 の創出」の報告、事務局から、「就労関係施策の整理表」、「(対象者類型別) 効果的就労支援策の組合せ案」の説明があり、意見交換を行った。

第 15 回企画委員会 2020 年 4 月 4 日

事務局から、2019 年度報告書案の報告とダイバーシティ就労プロジェクト事業の今年度の取り組み方針について説明し、意見交換を行った。また、コロナショックの下、各現場はどのような状況になっており、どのような対応がされているのかについて、各委員からの説明と意見交換も行った。

第 16 回企画委員会 2020 年 7 月 1 日

WORK! DIVERSITY プロジェクト 2020 年度計画修正案の説明があり、了承が得られた。また、海外状況整理部会と経済・財政・社会保障収支・労働需給バランス部会の 2019 年度報告書の説明と 2020 年度検討方針の説明があり、意見交換が行われた。

第 17 回企画委員会 2020 年 9 月 10 日

「COVID-19 の就労困難者への影響把握調査」について意見交換、アフターコロナの状況調査を、その状況が見通せる段階になった折に実施することになった。また、WORK! DIVERSITY プロジェクト・プラットフォーム構想についても意見交換が行われた。

第18回企画委員会 2020年10月6日

WORK! DIVERSITY プロジェクト・プラットフォーム構想について、意見交換が行われた。

3. 経済・財政・社会保障収支・労働需給バランス検討部会の開催

第4回部会 2019年6月27日

①経済・財政・社会保障収支や労働需給のバランスを推計するためにモデル事業からどのような情報を収集できるか、②就労困難者数を推計するためにどのような統計を利用できるか、等について議論した。

第5回部会 2019年8月7日

モデル事業でのデータ収集方法、経済・財政・社会保障収支・労働需給バランスの推計方法について議論した。

4. 海外の状況整理部会の開催

第4回部会 2019年6月21日

各委員からの2019年度研究活動計画の報告とそれに基づく調整を行い、障害者に対する就業対策とその他の働きづらさを抱える者に対する就業対策を中心に、基礎資料をまとめる合意が得られた。

第5回部会 2019年12月5日

各国（英国、フランス、フィンランド）の障害者等の就労支援対策の動向、欧州諸国におけるソーシャルファームの動向について議論した。

第6回部会 2020年1月9日

各国（英国、ドイツ、デンマーク）の障害者等の就労支援対策の動向、世界・韓国におけるソーシャルファームについて議論した。

第7回部会 2020年2月17日

海外状況整理部会報告書構成について最終確認し、それに基づく原稿執筆の了解を頂くとともに、2020年度での検討内容を議論した。

第8回部会 2020年8月4日

2020年度の検討内容について意見交換がされ、2020年度では、2019年度の基礎的検討を踏まえ、各国におけるダイバーシティ就労化の動向や日本での取組みとの比較を可能な範囲でまとめることになった。

第9回部会 2020年10月9日

欧州主要国において、「新型コロナウイルス感染症蔓延の緊急事態ないしその後の新常態社会の到来に対応した就業困難者への支援内容」の調査を行うこととし、調査事項の合意がされた。

5. 就労困難者の類型別対応に向けた有識者ヒアリングの開催

第1回ヒアリング 2019年6月4日

「引きこもり者等への就労支援」をテーマに、菊池まゆみ氏（秋田県藤里町社会福祉協議会会長）、谷口仁史氏（NPO スチューデント・サポート・フェイス代表理事）に講師をお願いし議論した。

第2回ヒアリング 2019年11月8日

難病患者を中心利用者とする就労継続支援A型事業所を営む（NPO）京都難病支援パッションネの上野山裕久理事長と障害者職業総合センター副統括研究員をお招きし、お二人の現在の取組み状況を報告いただき、患者団体の（一般社団法人）日本難病・疾病団体協議会の辻邦夫常務理事も交え、意見交換を行った。

第3回ヒアリング 2020年9月9日

オンライン形式で、「刑務所出所者等に対する就労支援」をテーマに、竹内政昭 NPO 法人神奈川県就労支援事業者機構事務局長、白石宏行白石工業株式会社代表取締役会長のお二人から報告いただき、意見交換を行った。

第4回ヒアリング 2020年12月3日

「引きこもり者等への就労支援」をテーマとした第2回目の有識者ヒアリングを、オンライン形式で行い、全国引きこもり家族会連合会（KHJ）代表理事伊藤正俊氏、フリージャーナリストで KHJ 理事でもある池上正樹氏のお二人から報告いただき、意見交換を行った。

6. 日本財団 1st WORK! DIVERSITY フォーラムの開催

2019年5月15日、日本財団2階大会議室で、1st WORK! DIVERSITY フォーラム（第1回ダイバーシティ就労支援フォーラム）を開催した。清家篤先生（ダイバーシティ就労支援研究プラットフォーム全体委員会委員長、慶應義塾前塾長、日本私立学校振興・共済事業団理事長）から「働くことの意味」と題した基調講演が行われた後、駒村康平慶應義塾大学経済学部教授（ダイバーシティ就労支援研究プラットフォーム企画委員会委員長）の座長の下、自由民主党穴見陽一衆議院議員、山本博司公明

党参議院議員、川田龍平立憲民主党参議院議員、中崎ひとみ（社福）共生シンフォニー常務理事、金友久美子共同通信社経済部記者によるパネルディスカッションが開催され、ダイバーシティ就労支援事業の意義等につき、活発な意見交換が行われた。

さらに、一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構岩田代表理事から 2018 年度の活動報告について、公益財団法人日本財団公益事業部竹村利道シニアオフィサーから WORK! DIVERSITY プロジェクト（ダイバーシティ就労支援研究プラットフォーム）の今後の動きについてそれぞれ説明があった。

7. 日本財団 WORK! DIVERSITY プロジェクト 2019 年度調査研究報告書の作成

以下の報告書を、日本財団に提出した。

- (1) 総合報告書
- (2) 「経済・財政・社会保障収支・労働需給バランス検討部会」報告書
- (3) 「海外状況整理部会」報告書
- (4) 1st WORK! DIVERSITY フォーラム報告書

8. ホームページを通じた情報提供

（一社）ダイバーシティ就労支援機構ホームページを利用しやすいように見直しを図るとともに、「明るい話題」コーナーの設置や「ダイバーシティ関連情報」の充実を図った。